

洛東大仏餅の濫觴は則方広寺大仏殿建立の時より此銘を蒙り売弘ける。其味美にして、煎に蕩ず灸に芳して、陸放公が炊餅、東坡が湯餅にもおとらざる名品也。唐破風作の額標版は正水の筆にして、代々ここに住して遠近に其名高し。

大仏餅を瀧本坊へをくるとて

安楽庵伝策

白妙の雪のはだへをもちながらかちんといへる色のふかさよ

返し

瀧本坊狸々翁

白妙の雪のはだへもこれほどにひとのもちゑてせもひつくなは